



三厩地区 龍飛崎・龍見橋



青森県外ヶ浜町

www.town.sotogahama.lg.jp

本庁舎 〒030-1393 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2 TEL.0174-31-1111
平館支所 〒030-1492 青森県東津軽郡外ヶ浜町字平館根岸湯の沢150 TEL.0174-25-2111
三厩支所 〒030-1798 青森県東津軽郡外ヶ浜町字三厩新町18-1 TEL.0174-37-2001



青森県外ヶ浜町観光ガイド

歩く旅、見えてくる、外ヶ浜。

Slow Travel is Busy

源義経 北行伝説

日本史上ひととき人気の高い人物のひとりである「源義経」。1189年(文治5年)、兄である源頼朝の手により平泉の地で悲劇の死をとげたとされる義経ですが、ここ外ヶ浜町三厩地区には、源義経が追撃をかいぐって平泉を脱出、北へ向かい龍飛崎を渡って蝦夷地(北海道)へ向かったという「義経北行伝説」が伝えられています。義経一行が歩んだ足跡をたどり、外ヶ浜町ゆかりの地をめぐる。



義経、北へ。

義経は源義朝の九男として出生、牛若丸と名付けられました。2歳のとき、平治の乱による父義朝の死とともに奈良へのがれ、その後京都・鞍馬寺で育ちました。元服した義経は、奥州藤原氏を頼って平泉に下りました。この地で兄である源頼朝の挙兵を聞き、伊豆国へ馳せ参じると共に、打倒平氏を目指すことになった義経は、壇ノ浦の戦いに勝利して、ついに平氏を滅ぼしました。その後、名声と法皇からの信用が高まった義経は、武家政権の確立を目指す頼朝にとってやっかいな「身内の敵」となりました。頼朝は義経を朝敵とみなし、義経は兄に追われる立場になりました。

頼朝の包囲網をかいぐり、京都を脱出した義経は、藤原秀衡を頼り奥州平泉へ向かいました。秀衡の死後、跡を継いだ藤原泰衡は頼朝の密命を受け、衣川の高館にいた義経主従を襲いました。このとき義経は館に火を放ち、妻子を道連れに自刃し、最期のときを迎えたといわれています。しかし「義経北行伝説」のストーリーは、ここから始まるのです。

龍馬に乗り、海を渡る。

影武者を使って衣川を脱出した義経たちは、人目の多い奥州街道を避けて北へ進み、北上川を渡って岩谷堂、大股、世田米、

宮古、八戸、青森へと下っていききました。蝦夷地へ渡る船場を探していると、さらに海岸に沿って北へ進むべきだと情報を得て、ついに三厩の地へとたどりつきました。義経たちはよるこびましたが、龍飛の波は荒れ狂い、行く手をはばみました。義経は空高くそびえ立つ巨岩に登って、三日三晩祈りをささげ、菩薩の力をかりて荒れ狂う海を鎮めようとした。三日目の暁、義経の祈りが届き、菩薩が現れました。菩薩は「これに乗って渡るがよい」と、義経に龍馬(翼が生えた馬)3頭を与えました。岩の洞穴につながっていた3頭の龍馬にまたがって、義経は龍飛の海を渡り、無事に蝦夷地へ渡ることができました。外ヶ浜町「三厩」の地名はこのことに由来しています。

義経寺

ぎけいじ



円空が諸国遍歴の際、義経が祈った岩の上で見つけた菩薩像を祭ったことに起因するお寺です。

甲岩

かふといわ



義経が安全祈願のために、大切な甲(かぶと)を沈めて海の神にささげたとされる大きな岩です。

厩石

まやいし



義経の祈りによって現れた菩薩が与えた龍馬が繋がれていたとされる3つの洞穴がある巨岩です。

帯島

おびしま



義経が北海道へ旅立つ際、帯を締めなおしたと言い伝えられることから名づけられました。津軽半島の最先端にあります。



義経まつり



義経北行伝説にちなんで開催される夏祭り。地元住民が義経一行に扮して町内を練り歩きます。会場では、郷土芸能の披露などの催しが行われます。

龍飛

TAPPI Area



あの歌で有名な
龍飛岬のイメージは吹雪、寒い。
でも龍飛にも当然青い季節もある。
北の大地がすぐそこに見える。
この旅はなんだか
新しい発見がありそうだ。



津軽国定公園 龍飛崎

龍飛崎は津軽半島の最北端、津軽海峡に突き出た岬。北海道の白神岬とは津軽海峡を挟んで19.5kmの距離があり、地下を青函トンネルが通ります。晴れた日には津軽海峡を挟んだ北海道まで見渡せます。



階段国道 339号

全362段、日本で唯一の階段国道。もとは生活道路として利用されていましたが、1974年に国道に指定。階段部分も整備される予定でしたが、傾斜がきつく道幅も狭いため整備は手つかずに。これを観光スポットとして利用すべく、階段部分を「階段国道」として整備しました。



青函トンネル 記念館

青函トンネルの構想から完成までを映像やパネル、立体モデルなどでわかりやすく展示。体験坑道では、海面下140メートルの実際に作業坑として使われた一角を見学できます。

TEL.0174-38-2301 / 8:40 ~ 17:00 / 入館料有料 / 11月~4月末休業(展示ホールのみ臨時開館・要問合せ)



龍飛岬観光案内所 龍飛館

作家・太宰治、棟方志功ゆかりの宿「旧奥谷旅館」が観光案内所として生まれ変わったのが、この龍飛館。太宰が友人 N 君と過ごした部屋は、当時の様子が再現されています。龍飛岬観光のすべてがここにあります。

TEL.0174-31-8025 / 9:00 ~ 16:00 / 入館料無料 / 休館日あり

食の逸品

津軽海峡 本まぐろ

津軽海峡でとれる本まぐろは、希少価値が高く最上等種とされ、高価格帯で取引されています。龍飛岬にお越しの際は、ぜひご賞味ください!



- 凡例
- 駐車場
 - トイレ
 - 食事処



三厩 MINMAYA Area



半島最北端の町には、津軽海峡の新鮮な海の幸が待っている。本まぐろにイカにタコ。どれもかと寿司を食べつくし、お風呂に入って、今、スロートラベルは本当に忙しい。



あじさいロード

約 15,000 本のアジサイが植えられている、三厩駅から龍飛崎の先端までの約 15 キロメートルの区間にわたる山間道路です。もともとは旧三厩村の村花であるアジサイを、地元の人々が道ばたに植えたことに始まります。毎年夏になると、龍飛崎まで続く山道が青紫色に彩られます。

みちのく松陰道

1852年、吉田松陰が津軽海峡の警防状況を検分するために歩いた険しいけものみちを、青森県が1998年に松陰道として整備。三厩地区算用師橋から

算用師峠を越えて中泊町の石川長浜橋までの約10kmにわたって、豊かな自然を満喫できます。



義経海浜公園海水浴場

総合交流促進センター「かぶと」の裏手に位置する海水浴場です。目の前には、義経北行伝説で知られる「甲岩（かぶといわ）」があります。すぐそばには義経寺や厩石があり、義経

北行伝説を辿る出発点としておすすめです。
<総合交流促進センター「かぶと」>
軽食休憩コーナー・特産品販売コーナーあり
TEL.0174-31-7021 / 8:30~17:00 / 水曜日定休

食の逸品



本まぐろのにぎり

最高級品とされる津軽海峡でとれる本まぐろ。「にぎり」を現地でいただくことは、スロートラベルの醍醐味です。



ヤリイカ

刺身や寿司ダネとして生食に多く使われますが、一夜干し、直火焼き、煮付けでもおいしく食されます。

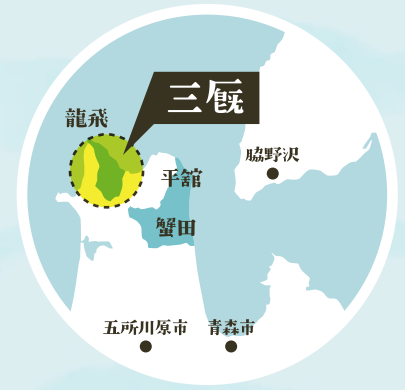


ミスダコ

身はお刺身で、吸盤は軽くボイルしてわさび醤油で。コリコリの歯ごたえがたまりません。

凡例

- P 駐車場
- トイレ
- 食事処



平館 TAIRADATE Area



1 map

松並木が美しい海岸沿いの街道を南へずっと歩く。歩く。歩き疲れた自分を見下ろすように、真つ白な灯台がそばにいた。ゆったりと時が流れる、町の公衆浴場で“ちやぼらっと”風呂を浴びる。



平館灯台

全国的にも珍しい国道沿いに立つ白亜の灯台。明治 32 年にできた西洋式灯台で、高さは 23 メートルあります。周囲にはクロマツ並木や西洋式台場の土濠が扇状に残っています。平館海峡を航行する船舶を 100 年以上にわたり見守ってきました。



2 map

松前街道

津軽国定公園入口にある、樹齢約 300 年の老黒松並木の旧街道です。松前藩が参勤交代の道として利用し、その名が付きしました。歴史的にも意義深く、外国船の侵入を防いだ平館台場跡などがあり、1km に渡って続く松並木は、この地域の強い東風(ヤマセ)から農作物を守る役割も果たしています。



3 map

道の駅たいらだて

津軽国定公園内に位置し、海水浴、登山などを楽しむ際の拠点として多くの旅行者に利用されています。

<センターハウス>
TEL.0174-31-2211 / 宿泊施設予約受付 / 軽食コーナーあり
<トイレ> 24 時間利用可能
<特産物販売所>
10:00 ~ 16:00 / 土日祝日のみ営業 / 冬期間休業



4 map

さい沼

さい沼付近一帯は、「丸屋形岳県自然環境保全地域」に指定されており、ブナ林の分布、クロサンショウウオ、モリアオガエルなどの生息繁殖地として非常に貴重な場所とされています。東北自然歩道「湯の沢渓谷とさい沼めぐりの道」のハイキングコース上にあり、歩きながらゆっくり自然とふれ合うことができる最高の癒しスポットです。

食の逸品



ウニ

新鮮な採れたてウニをご飯の上にのせていただく。外ヶ浜の初夏、季節限定のぜひたくです。



焼干し

新鮮な魚を天日干しし、炭火焼にこだわった貴重な焼干しは、全国から人気を博しています。



- 凡例
- P 駐車場
 - トイレ
 - 食事処

蟹田 KANITA Area



駅前観音様

1 map

支豪・太宰治はこの町を「風の町」といったそうだ。潮風に身をまかせ、ゆっくり町を歩く。駅前の市場では、名物トゲクリガニをを求める客で賑わっていた。天気がよければフェリーによって、下北半島への陸奥湾クルージングもいいかもなあ。

蟹田駅前市場 ウェル蟹

「ようこそ、Welcome」という歓迎の気持ちを店の名前に冠した市場。地元の豊かな自然に育まれた野菜・花・魚・肉・加工品を販売。新鮮かつ安く手に入ると地元客にも評判で、旬の食材を買い求める客でにぎわいます。ウェル蟹の前には観音様があり世界平和を祈願しています。

TEL.0174-31-1112 / 7:30 ~ 18:00 / 不定休



2 map

風のまち交流プラザ トップマスト

地上30mの展望台があり、陸奥湾を一望できます。1Fにはカーフェリー乗船券販売所、物産コーナーがあります。2Fの「シェ・ロンフウ」では、地元産の食材を活かした中華料理が好評です。

TEL.0174-22-3181 / 8:00 ~ 17:00
<シェ・ロンフウ>
TEL.0174-22-3905 / 11:30 ~ 16:00 / 月曜日定休



3 map

大山ふるさと資料館

縄文時代草創期の「大平山元I遺跡」、同晩期の「宇鉄遺跡」や「今津遺跡」から出土した土器や石器を展示。また、大正・昭和時代の懐かしい生活用品・農具なども展示されています。

入館料：無料 / TEL.0174-22-2577 / 9:00 ~ 16:00 / 年末年始・月曜休（祝日の場合その翌日）



4 map

観瀾山海水浴場

トップマストに隣接した海水浴場は目前に陸奥湾が広がります。休憩所2階「カンパーニュ」では地元産米粉を使った米粉しふおんけーぎ等を販売しています。

トイレ・シャワー完備 / 無料駐車場あり <カンパーニュ>
TEL.090-7325-2974 / 9:30 ~ 16:30 / 日曜日・月曜日定休

食の逸品



トゲクリガニ しろうお

津軽の春を彩る食材である、「トゲクリガニ」と「しろうお」。蟹田地区を代表する美味です!



ホタテ

外ヶ浜町は県内有数の養殖ホタテの産地として知られています。たくさんのおいしい海の恵みを召しあがれ。



地図A



地図B

宿泊

ゆったりとした時間が流れる外ヶ浜の宿。
あえて旅に急がず、時間を忘れて、のんびりと。
奥津軽のスロートラベルを満喫しましょう。



宿1 民宿津軽海峡亭
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩龍浜50
TEL.0174-38-2855



宿2 民宿竜飛津軽屋
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩龍浜52-30
TEL.0174-38-2435



宿3 龍飛崎温泉 ホテル竜飛
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩龍浜54-274
TEL.0174-38-2011



宿4 民宿なりとみ
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩龍浜96
TEL.0174-38-2506



宿5 龍飛崎シーサイドパーク
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩中浜54
TEL.0174-38-2741



宿6 龍飛旅館
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩中浜110
TEL.0174-37-2666



宿7 ペンションだいば
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館太郎右工門沢1-1
TEL.0174-25-2138



宿8 おだいばオートビレッジ
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館田の沢
TEL.0174-31-2211



宿9 北田旅館
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館後田28
TEL.0174-25-2312



宿10 平館不老不死温泉
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館根岸湯の沢132-1
TEL.0174-25-2611



宿11 中村旅館
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字蟹田94
TEL.0174-22-2046



宿12 佐々木旅館
青森県東津軽郡外ヶ浜町
字蟹田中師宮本2-3
TEL.0174-22-2104



天然温泉 温1 平館不老不死温泉



[住所] 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館根岸湯の沢132-1
[料金] 大人500円・小人250円
[入浴時間] 10:00~15:00
[休館日] 要問合せ
[駐車場] 有

天然温泉 温2 湯の沢温泉 ちゃぼらっと



[住所] 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字平館根岸湯の沢150
[料金] 大人350円・中人150円・小人50円
[入浴時間] 10:00~21:00
[休館日] 月曜日
(8月13日、8月16日、12月31日、1月1日)
[駐車場] 有

人工温泉 温3 ぼっぱ湯



[住所] 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字下蟹田43-2
[料金] 大人350円・中人150円・小人50円
[入浴時間] 10:00~21:00
[休館日] 木曜日、1月1日
[駐車場] 有

人工温泉 温4 よしつねの湯



[住所] 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩新町100-1
[料金] 大人350円・中人150円・小人50円
[入浴時間] 10:00~20:00
[休館日] 火曜日、1月1日
[駐車場] 有

天然温泉 温5 龍飛崎温泉 ホテル竜飛



[住所] 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字三厩龍浜54-274
[料金] 大人500円・中人300円
[入浴時間] 11:00~20:00
[休館日] なし
[駐車場] 有



歩く旅に疲れたら、
どうぞゆったり心と身体を
ほぐしてください。

湯のら旅

Event Infomation ※イベントの開催等は、年ごとに変更があります。詳しくは役場までお問い合わせください。

TEL.0174-31-1228(外ヶ浜町産業観光課)

Oh! だいばうにの日



7月

新鮮な生ウニが数量
限定で販売されるほか、
魚介類等の販売や水産
加工品、農産物等の販
売が行われます。

外ヶ浜町港まつり



7月

よさこいなどの楽しいス
テージイベントが催される
ほか、地元産の魚やホ
タテなど、外ヶ浜中から
美食が大集合し、旬の
味覚を堪能できます。

龍飛・義経マラソン



8月

義経北行伝説が残る、
三厩地区で行われるマ
ラソン大会。ゴール地点
では、義経一行が、完走
をお祝いしてくれます。

津軽海峡 本まぐろ解体ショー



9月~11月

津軽海峡産の本まぐろを
目の前で豪快に解体し
ます。解体された本まぐ
ろは、即売会にて買い求
めることができます。

外ヶ浜町へのアクセス

JR

<新幹線>
東京 → 奥津軽いまべつ ……3時間30分
新函館北斗 → 奥津軽いまべつ ……50分
東京 → 新青森 ……3時間10分
八戸 → 新青森 ……30分

<特急>
秋田 → 青森(奥羽本線) ……2時間45分

<普通>
青森 → 蟹田(津軽線) ……30分
蟹田 → 三厩(津軽線) ……40分

レンタカー

JR 駅レンタカー

<場所>
JR奥津軽いまべつ駅隣接の
「道の駅いまべつ」内
TEL 0174-31-5020



カーフェリー

蟹田(津軽) → 脇野沢(下北) ……1時間

<運行期間と時刻表> 4月21日~11月5日の期間

	蟹田発	脇野沢着	脇野沢発	蟹田着	
1便	9:20	10:20	2便	10:50	11:50
3便	14:00	15:00	4便	15:30	16:30

むつ湾フェリー株式会社 TEL 0174-22-3020

<http://www.mutsuwan-ferry.jp>

※むつ湾フェリーに関する詳細は、むつ湾フェリー株式会社ホームページでご確認ください。

タクシー

●蟹田タクシー

TEL 0174-22-2113
フリーダイヤル 0120-391-881

●(有)蟹田観光タクシー

TEL 0174-22-3399
フリーダイヤル 0120-054-915


●(有)奥津軽観光



TEL 0174-35-3581

路線バス

蟹田駅 → 平舘(元宇田) ……45分
三厩駅 → 龍飛 ……30分

<路線バスの乗降車方法>

- 1 路線上でバスを見つけます。

- 2 手を挙げるとバスが止まります。

- 3 運転手に行き先を伝えます。

- 4 目的地付近でバスが止まります。


※路線バスに関する情報につきましては、役場までお問い合わせください。

外ヶ浜町 総務課
TEL.0174-31-1111

